

## 審査の結果の要旨

氏名 稲岡 恵美

多くの開発途上国では、人的資源や予算の制約がある中で基礎的保健医療サービスの普及とサービスの質を向上させるという課題に直面しているところ、本研究は、保健行政システムの最先端で働き、保健医療サービスの供給において重要な役割を持つコミュニティヘルスワーカー(以下 CHW と略記する)に焦点を当てている。その任務遂行状況およびその政策の成果をあげるための示唆を得ることを目的に、コミュニティヘルスワーカーの活動の分析方法および決定要因について検討したものであり、下記の結果を得ている。

1. 先行研究の分析により、CHWの活動に影響を与える事項として、1)CHW制度の運営管理、2)CHWの技能、3)地域住民との関係、4)地域保健行政との関係が重要であること、また、これらが、CHW意欲およびCHWの監督のあり方に影響を受けていることを導き出した。
2. アフリカ南部ザンビア共和国首都のスラムを事例に、コミュニティヘルスワーカーに関する大規模な質的調査を行い、CHWの活動に関する地域差の要因の検討を通じて、CHWの仕事ぶりに影響を与える要因を明らかにし、それに基づいて、CHWの仕事ぶりを把握するための簡易判定ツールを作成・試行している点が、従来ない研究となっている。
3. 調査の結果、対象地域の社会経済的状況は類似しているものの、CHWの仕事ぶりには差があり、それは、経済的インセンティブよりむしろ、地域保健局との関係、地域コミュニティの支援が活性化の要因であることが示された。
4. 調査結果の更なる分析により、CHWの仕事ぶりに影響を与える5つの概念、および各々の決定要因が導かれている。5つの事項とは、1)CHWの意欲、2)CHW制度の責任者の関心および支援、3)活動に必要な資金や物品があること、4)地域住民によるCHW活動の認知、5)地域住民によるCHW活動の質の評価、である。また、CHWの仕事ぶりが、CHW制度の有効性を高め、保健医療水準の向上という効果に結びつくことを確認した。5項目38指標で構成するスコア式簡易判定ツールを作成して、対象6地域のCHWを取り巻く特徴を判定し、質的調査の結果からツールの信頼性が示唆された。
5. CHW制度の有効性や継続性を高めるには、CHW制度を運営する地域保健行政やヘルスセンターが、CHWの技術や資金調達に加えて、動機づけ、支援を伴う監督を促進することによって個々のCHWの仕事ぶりを改善する対応が必要である。

6. 動機づけのためには、経済的インセンティブの付与、現場での CHW による判断や意思決定を可能にすること、地域や行政による迅速な問題解決が効果的で、これにより、CHW の労働環境が改善され、自主性を醸成することが重要である。また、支援を伴う監督を促進のためには、CHW を監督する立場である地域保健行政および地域リーダーが、本制度を保健行政活動の一環として認識し、活動や成果をモニターし、必要に応じて資金や時間を充てることが出来るような体制づくりが求められ、そのためには保健行政のより上位レベル、さらに、保健セクター以外の地域行政が、CHW 制度を認知し、その円滑な実施促進を支援する仕組みの設置が必要であることが導かれた。

以上、本論文は、コミュニティーヘルスワーカーの任務遂行の決定要因を明らかにし、コミュニティーヘルスワーカーという保健政策の成果を挙げるための示唆を、現場の情報をもとに明らかにしたものであり、重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。

以上